

商況

◎米國金物商況——三月下旬

米國金物市況は依然未曾有の活躍を續け銑鐵及鋼鐵の各種を通じ價格は非常なる騰貴をなし尙ほ漸次昂騰の傾向なり曩に獨逸に對し參戰布告せし以來各種鋼鐵に對する政府注文は莫大なる數量に達し而して各工場は何れも外國及内國注文に依り已に注文滿腹の折柄なるを以て是等政府の要求に應するには勢ひ他注文品の引渡を自然延引するの止むなきに至りしを以て各需要者は價格の如何に拘はらず到底満足に材料を得る能はざるの狀態に陥れり。

一、銑鐵

各種銑鐵其價格は漸騰を繼續し最近に於て一噸に付一弗乃至二弗五〇仙騰貴せり、アルバマにては現今ファンドリ銑は三十弗を唱へバーミングハムにては三十一弗にて取引行はれし模様なり、ピツツバークにてはベセマー銑一屯に付一弗上進しファンドリ銑は本年下半期渡もの四十弗を唱へ居れるも事實三十七弗乃至三十八弗にて取引行はるゝ様子なり而して賣手は何れも高値を唱へ居れるも賣行頗る良好なるを以て市場は尙ほ價格上騰の氣配を

呈せり。

上半期渡四萬屯を三十三弗費府にてはファンドリ銑二千屯を四十弗、其一大唧筒會社に來年上半期渡二萬三千屯を三十二弗東部地方の製鐵所にベーシック銑五萬八千五百屯、クリブランド地方の二三工場にては十萬屯の取引ありし模様なり、時價ピックバーク地方にてはベセマー銑三十七弗乃至三十八弗、ベーシック銑三十二弗乃至三十三弗を唱へ居れるも多分其以上の高値にて取引せらるへきを豫想せらる而してマリエブル、ベセマー銑、三十五弗乃至三十六弗ノンファンドリ銑は三十七弗乃至三十八弗グレー、フォージ銑は三十二弗乃至三十三弗見當を唱へ居れるも引渡期の如何に依り多少の差違あり。

エビレット及薄板鋼片

ヤングストン州に於けるオブンハース工場にては時々不用鋼材の買手顯はれ最近棒鋼の壓延材料として約、五千屯乃至六千屯の不用鋼材は四十一弗乃至四十二弗にて取引行はれたり又或工場にては薄板鋼片を作る爲めにベセマー及オブンハースのインゴットを購入し居れり。工場の引渡は二三週間前より貨車配給増加の爲め以前より稍や良好なる状態となれり。

ピツツバーク、ヤンクストン地方にては時價工場渡ソフトベセマー及オブンハース、ビレット及薄板鋼片は六十

五弗乃至七十弗五時未満の炭素含有量〇・二五以下のフ
オーリンガビレット九十弗乃至九十五弗を唱へ居れり。

三、棒鋼及棒鐵

棒鋼は各製鐵所共最低價格は三仙三五に止まるが如し
而して注文後八週間乃至十週間内積出のものに對しては
三仙五〇以上を唱へ居れり。ピツツバーグ地方の主なる工
場にては本年中の製產力全部は殆んど約定濟の模様にし
て引渡期限を定めざるものにて三仙三五を唱へ二ヶ月乃
至三ヶ月内の引渡ものは三仙五〇乃至三仙七五、棒鐵は
三仙五〇見當なり。

市俄古地方にては棒鐵三仙乃至三仙二五柔質棒鋼三仙五
三九乃至三仙六八九硬質もの三仙二五を唱へ居れり。

四、鋼板

造船所及汽車製造業者よりの需要は益々増大するも大部
分の工場は本年中は事實注文満腹せる爲め大數量の契約
は來年上半期渡に亘れるものあり。

ピツツバーグにては造船用鋼板は依然六仙乃至七仙五〇

を唱へカトネギー鋼鐵會社は厚さ四分の一吋以上の鋼

板は引渡期限を定めざるものにて最低價格四仙五〇なり

其他の製鐵所は四ヶ月乃至六ヶ月内の引渡もの四仙七五
乃至五仙二五を唱へり。

紐育地方にてはユニバーサル鋼板五仙一五九乃至五仙六
六九並時のタンク用鋼板五仙四一九乃至六仙一六九造船

用鋼板七仙六六九見當なり。

薄板ものは各工場共七月以後の引渡ならては引受をなさ
ず而て價格は近々更に昂騰すべく一般に豫期し居れり。

仙二五ベセマー、コトルトロールの五仙乃至五仙
五〇を唱へり。

五、建築用鋼材

最近新規需要は益々増大し橋梁製造業者其他よりの注文
數量は實に莫大なる額に上れり。

ピツツバーグにては十五吋以下の工形鋼及溝鋼は極先物
にて三仙六〇乃至三仙七五を唱へ居へり。

六、軌條

カーネギー鋼鐵會社は重軌條用繼日板の値上を發表し
二仙七五乃至三仙二五を唱へり、重軌條に對する需要は
稍や閑散狀態となりしも輕軌條に對する需要は益々増進
せり。

時價ピツツバーグにては左記見當を唱へ居れり。

八封度乃至十封度

五十八弗

十二封度乃至十四封度

五十七弗

十六封度乃至二十封度

五十六弗

二十五封度乃至四十五封度

五十五弗

ベセマー重軌條

三十八弗

オブンハース重軌條

四十弗

七、ワイヤロット

供給は需要に比し依然不足を訴へ工場は二ヶ月若くは三ヶ月内に確實に積出すことを契約し得れば如何なる高價にても賣行く状態にあり、最近ソフトベセマー及オブンハース、ワイヤロットものに對し八十弗にて多少商談成立したる模様なり然れども今や賣手は何れも八十五弗を唱ふるに至れり、而して加奈太向のソフトベセマーロット一千屯は八十弗にて取引成立せり。

現今加奈太、南亞米利加及日本より莫大なる注文入り込み。

八、銅

市況多大の變動なきも幾分下押氣味なり。

九、錫

市場活躍を續け價格昂騰の氣配なり。

十、亜鉛

市況閑散にして價格稍や下落せり。

十一、安質母尼

取引は事實行はれるも氣配頗る强硬にして價格漸騰の氣味あり。

◎内國金物商況

一、鋼材類

米獨國交斷絶の報傳はりし以來頓に活氣を呈せし金物市

場は久しく外注手控の爲め在荷益々減退せると米國の參戰決議と共に政府は國內の各製鐵所に對し莫大なる鋼材買收の舉に出でたる爲め今や實質上各製鐵所は賣止同様の姿にて新規外注は積出期及價格の關係上到底商談出來ざる等に起因せるか俄然價格奔騰し鋼板は無論厚物薄物を問はず又爾來久しく米鐵に比し逆鞘なりし棒鋼さへ遂に十圓臺を突破し今後益々昂騰の氣味あり。

今東京方面の成行相場を示せば左の如し(十貫目に付)

| | 三月上旬 | 三月下旬 | 四月上旬 |
|---|---|---|---|
| 一、棒鋼 | 九五〇〇 | 九八五〇 | 一〇六五〇 |
| 一、鋼板 | 一五〇〇 | 一六〇〇 | 一七五〇〇 |
| 一、瓦釘 | 一八一五〇 | 一八三〇〇 | 一九一五〇 |
| 一、軟鋼 | 一五〇〇 | 一六〇〇 | 一七〇〇 |
| 一、軟鋼板並時 | 一五〇〇 | 一六〇〇 | 一七〇〇 |
| 一、ワイヤロット | 一五〇〇 | 一六〇〇 | 一七〇〇 |
| 三月十五日 軟丸鋼 ^{1/2} | 三月十五日 軟丸鋼 ^{1/2} | 三月十五日 軟丸鋼 ^{1/2} | 三月十五日 軟丸鋼 ^{1/2} |
| 同 軟丸鋼太物 | 同 軟鋼板並時 | 同 横濱 e i f | 同 一二一弗 |
| 同 軟鋼板並時 | 同 同 | 同 一二八弗 | 同 一六八弗 |
| 三月十六日 薄鋼板 ^{1/2} | 三月十六日 薄鋼板 ^{1/2} | 三月十六日 薄鋼板 ^{1/2} | 三月十六日 薄鋼板 ^{1/2} |
| 同 軟丸鋼太物 | 同 軟鋼板並時 | 同 一二八弗 | 同 一二八弗 |
| 同 軟鋼板並時 | 同 同 | 同 一七〇弗二五 | 同 一七〇弗二五 |
| 三月廿日 同 同 | 三月廿日 同 同 | 三月廿日 同 同 | 三月廿日 同 同 |
| 四月五日 薄鋼板 ^{1/2} 乃至 ^{3/4} × ³ × ⁶ | 四月五日 薄鋼板 ^{1/2} 乃至 ^{3/4} × ³ × ⁶ | 四月五日 薄鋼板 ^{1/2} 乃至 ^{3/4} × ³ × ⁶ | 四月五日 薄鋼板 ^{1/2} 乃至 ^{3/4} × ³ × ⁶ |
| 同 薄鐵並時 | 同 平鋼厚 ^{1/4} 以上 | 同 一六九弗二〇 | 同 一六九弗二〇 |
| 同 薄鐵並時 | 同 同 | 同 一五一弗五〇 | 同 一五一弗五〇 |
| 四月七日 亞鉛引線 ^{1/8} | 四月七日 亞鉛引線 ^{1/8} | 四月七日 亞鉛引線 ^{1/8} | 四月七日 亞鉛引線 ^{1/8} |
| 同 一九四弗 | 同 一九四弗 | 同 一九四弗 | 同 一九四弗 |
| 四月十二日 軟鋼板並時 | 四月十二日 軟鋼板並時 | 四月十二日 軟鋼板並時 | 四月十二日 軟鋼板並時 |
| 同 一六七弗 | 同 一六七弗 | 同 一六七弗 | 同 一六七弗 |

三月上旬迄は商況兎角不振なりしが中旬に入り稍や活氣

を帶び來り續て下旬に入り益々市況緊張せり而して米國市場は入電毎に益々高値を報じ居りしか四月上旬に至り俄然暴騰遂に十圓臺を凌駕するに至れり、今三月上旬に比較するに約貳割餘騰貴し尙目先き此好況を持続すべく思惟せらる是は從來在荷の豊富と内地製品とに抑制せられ久しく米國市場と逆鞘にありたる爲め只管外注手控の状態なりしを以て昨今に至り漸く品薄を訴へ來り而も上述の事情に依り當分入津品も望み難き爲め一般に底意頗る强硬なり。

B 鋼錫

市場在荷の爲め益々相場緊張し三月上旬に比較し約貳割乃至四割高の昂騰を見るに至り而して爾來唯一の供給先たる米國は各國よりの商談同國に集中せる爲め啻に價格の漸騰を傳ふるのみならず積出期も餘程遠き先物にあらざれば注文に應ぜず殆んど賣止め同様の状態なるを以て唯内地の製鐵所製品に待たざる可からざるの苦境に立ち至れり前述の如き状態なるを以て今後益々品薄を告げ尙ほ一層の高値を顯出するやも計り難く豫想せられる。

C 形鋼

久しく居据りなりし山形鋼も鋼板及棒鋼の活躍に連れ漸く回復の機運に向へり。

工形鋼及構鋼も品薄なる爲め市況頗る强硬なり。

D 亞鉛引鋼板

原板たる黒薄板輸入難の爲め東京及大阪に於ける亞鉛鍍會社の休業は忽ち其影響を受け價格著しく騰貴し在荷は益々品荷を訴へ市況基だ固し。

E 軌條

重輕軌條共に依然品拂底し突飛なる高値を演出せり。

F 丸釘

三月中旬頃より稍や活氣を帶び下旬に至り品に依りては多少騰貴を見しが四月上旬に至り俄然暴騰し三月上旬に比較すれば約壹割餘の昂騰を見るに至れり而して賣行は全く涉々しからざれども市場品薄を氣構へ今後好況の持續するならんと思惟せらる。

二、銑鐵

輸入は印度タタ銑の僅少數量の入荷弗々あるのみにて市場在荷拂底し價格も小口もの二百圓見當の突飛相當を演出せり。

最近某所に達したる入電は米國バーミンガム七八月積出るもの二百五十圓乃至二百六十圓ヘマタイト類似の米國のアサン・アイアン、コンパニー製品シャートウーレー及米國トーマス、ファーネス會社製特等銑二百六十圓乃至二百七十圓を報ぜり。

三、錫

在荷豊富と云ふを得ざるも本國市場下押の影響を受け最近貳圓方低落せり。

四、亞鉛

市場在荷潤澤なる爲め下押氣味なり

